

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2024年 4月25日

都道府県知事 殿

病院名 京都第一赤十字病院
開設者 日本赤十字社 京都府支部 支部長 西脇 隆俊

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、① 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。
（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

① 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 030476 臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

記入日：西暦2024年 4月25日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。		030476		臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。		名称 京都第一赤十字病院			
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。		フリガナ モリタ ユカ		役職					
		氏名(姓) (名)		人事課 主事					
		森田		優香		(内線3200) (直通電話(075)561-1121) e-mail: education@kyoto1-jrc.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)			
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)		フリガナ キョウトダイイチセキジ ユウジビョウイン 京都第一赤十字病院							
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型・協力型記入)		〒 605-0981 (京都 都・道・府・県) 京都市東山区本町15丁目749番地 電話:(075)561-1121 FAX:(075)561-6308 二次医療圏の名称: 京都・乙訓医療圏							
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) (基幹型・協力型記入)		フリガナ ニッポンセキジ ユウジシャ キョウトフジブ シブチョウ ニシキタカシ 日本赤十字社 京都府支部 支部長 西脇隆俊							
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型・協力型記入)		〒 602-8044 (京都 都・道・府・県) 京都市上京区下立売通油小路西入東橋詰町178 電話:(075)468-1182 FAX:(075)468-1789							
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型・協力型記入)		フリガナ 材ツグ		イロ					
		姓		名		大辻 英吾			
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)		* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。							
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)		* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。							
8. 病院のホームページアドレス (基幹型・協力型記入)		http://www.kyoto1-jrc.org							

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号：030476
 臨床研修病院の名称：京都第一赤十字病院

		※		
9. 医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤：240名、非常勤（常勤換算）：20.6名 計（常勤換算）：260.6名、医療法による医師の標準員数：52名 ＊ 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式3に記入	
10. 救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦1964年11月4日、告示番号：第522号	
	医療計画上の位置付け		1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 ③ 第三次救急医療機関	
	救急専用診療（処置）室の有無		① 有 （229.950）m ² 0. 無	
	救急医療の実績		前年度の件数： 15,402 件（うち診療時間外： 11,976 件） 1日平均件数： 42.2 件（うち診療時間外： 32.8 件） 救急車取扱件数： 7,020 件（うち診療時間外： 5,107 件）	
	診療時間外の勤務体制		医師：10名、看護師及び准看護師：11名	
	指導を行う者の氏名等		＊ 別紙4に記入	
	救急医療を提供している診療科		内科系 ① 有 0. 無） 外科系 ① 有 0. 無） 小児科 ① 有 0. 無） その他（ 産婦人科 ）	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 600 床、2. 精神： _____ 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： 4 床、5. 療養： _____ 床	
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			＊ 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。	
13. 病床の種別ごとの平均在院日数 （小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 11.8 日、2. 精神： _____ 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日	
14. 前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			件数：482件（正常分娩件数：279件、異常分娩件数：203件）	
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績：4回、今年度見込：6回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記入	
	指導を行う病理医の氏名等		＊ 別紙4に記入	
	剖検数		前年度実績：6件、今年度見込：10件	
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室 ① 有 0. 無 （ _____ ）大学、（ _____ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。	
16. 研修医のための宿舍及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舍		1. 有（単身用： _____ 戸、世帯用： _____ 戸） ① 無（住宅手当：最高額28,500円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室		① 有（ 1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（ 142,270 ）m ²	
	医学図書数		国内図書： 908 冊、国外図書： 215 冊	
	医学雑誌数		国内雑誌：108種類、国外雑誌： 90 種類	
	図書室の利用可能時間		0：00 ～ 24：00 24時間表記	
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース ① 有 0. 無）、教育用コンテンツ ① 有 0. 無）、 その他（ DynaMed, TheCochraneLibrary, CHINAHLwithFullText ）	
			利用可能時間（ 0：00 ～ 24：00 ）24時間表記	
医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター ① 有 0. 無）、 その他（ _____ ）		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号：030476
 臨床研修病院の名称：京都第一赤十字病院

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ 氏名（姓） 川本 役職 医療情報課長	カモト (名) 昌彦	マサヒコ	
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他（具体的に：)			
	診療録の保存期間	(10) 年間保存			
	診療録の保存方法	1. 文書 ②. 電子媒体 その他（具体的に：)			
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況	①. 有 (1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。			
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 (1) 名、兼任 (4) 名 主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 インシデントレポートの収集・分析及び、医療事故が発生した場合の介入			
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： フリガナ 氏名（姓） 高階 役職 救命救急センター長 対応時間 (8 : 30 ~ 17 : 06) 24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： ①. 有 0. 無			
		カシヅ (名) 謙一郎			
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①. 有 0. 無 指針の主な内容： 医療安全管理委員会・事故調査検証部会等の設置			
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (12) 回 活動の主な内容： 医療安全推進室からレベル3 b以上の事例の報告を受け、対応を決定			
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (2) 回 研修の主な内容： 医療事故、インシデント、事例分析対応、シミュレーション、講演等			
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全管理委員会及び、医療事故調査部会を設置し、事故内容について検討・予防策について改善を図る			
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		修了： 14 名 中断： 0 名			
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)			前々年度	前年度	当該年度
		1 年	14	14	14
		2 年	14	14	14
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数（歯科の病床数を除く。）から算出	許可病床数 (604) 床÷10＝ (60) 名			
	患者数から算出	年間入院患者数 (14,460) 人÷100＝ (145) 名			
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1. 精神保健福祉士： 3 名（常勤： 3 名、非常勤： 0 名）			
		2. 作業療法士： 7 名（常勤： 7 名、非常勤： 0 名）			
		3. 臨床心理技術者： 2 名（常勤： 2 名、非常勤： 0 名）			
		9. その他の精神科技術職員： 0 名（常勤： 0 名、非常勤： 0 名）			
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入)		①. 有（評価実施機関名：NP0 法人卒後臨床研修評価機構（2021年12月1日）） 0. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。受審状況有りの場合、結果の公表 ①. 有 0. 無			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号： 030476 臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名 男性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 (1. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (0 時 0 0 分 ~ 2 4 時 0 0 分) 病児保育 1. 有 0. 無 夜間保育 1. 有 0. 無 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か 1. 可 0. 不可
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 1. 有 0. 無 その他の補助 (具体的に :)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (1. 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 0. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)		(企業主導型保育園)
	研修医のライフイベントの相談窓口		1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 (人事課) 窓口の専任担当 1. 有 (4 名) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 (ハラスメント相談窓口) 窓口の専任担当 1. 有 (1 0 名) 0. 無
	※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：京都第一赤十字病院群臨床研修プログラム 総合診療内科コース プログラム番号： 030476210
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1 年次： 7 名、2 年次： 7 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ 氏名 (姓) 氏名 (名) 森田 優香 所属 人事課 役職 主事 電 話：(075) 561 - 1121 FAX：(075) 561 - 6308 e-mail： education@kyoto1.jrc.or.jp URL： http://www.kyoto1-jrc.org/
	資料請求先		住所 〒 605 - 0981 (京都 都・道・府・県) 京都市東山区本町 15 丁目 7 4 9 番地 担当部門 担当者氏名 人事課 姓 名 森田 優香 電 話：(075) 561 - 1121 FAX：(075) 561 - 6308 e-mail： education@kyoto1.jrc.or.jp URL： http://www.kyoto1-jrc.org/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030476 臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）	募集方法	① 公募 2. その他（具体的に： ）	
	応募必要書類 （複数選択可）	① 履歴書、② 卒業（見込み）証明書、3. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： ）	
	選考方法 （複数選択可）	① 面接 ② 筆記試験 その他（具体的に： ）	
	募集及び選考の時期	募集時期： 5月20日頃から 選考時期： 7月31日頃から	
	マッチング利用の有無	① 有 0. 無	
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）		概要：＊ 別紙3に記入 （作成年月日：西暦2024年 4月25日）	
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊ プログラム責任者の履歴を様式2に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入	（プログラム責任者） フリガナ 木本 アツシ 氏名（姓） 尾本 氏名（名） 篤志		
	所属 役職 総合内科部 総合内科部長		
	（副プログラム責任者） 1. 有（ 名） ① 無		
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。		＊ 別紙4に記入	
34. インターネットを用いた評価システム		① 有（ ・EPOC ） 0. 無	
35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）		西暦2025年 4月 1日	
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。	
	常勤・非常勤の別	② 病院独自の処遇とする。	
	研修手当	① 常勤 2. 非常勤	
		一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（270,000円） 賞与／年（300,000円）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（285,000円） 賞与／年（300,000円）
		時間外手当： ① 有 0. 無 休日手当： 1. 有 ① 無	
	勤務時間	基本的な勤務時間（ 8：30 ～ 17：06 ）24時間表記 休憩時間（ 60分） 時間外勤務の有無： ① 有 0. 無	
	休暇	有給休暇（1年次：10日、2年次：11日） 夏季休暇 ① 有 0. 無 年末年始 ① 有 0. 無 その他休暇（具体的に： 創立記念日 ）	
	当直	回数（約4回／月）	
	研修医の宿舍（再掲）	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） ① 無（住宅手当：最高額28,500円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室（再掲）	① 有（ 1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
社会保険・労働保険	公的医療保険（組合健康保険）		
	公的年金保険（厚生年金保険）		
	労働者災害補償保険法の適用 ① 有 0. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（1. 有 ① 無） 雇用保険 ① 有 0. 無		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030476 臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理		健康診断（年 2 回） その他（具体的に
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（1. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 0. 任意）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：1. 可 0. 否
			学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）		院内保育所の有無 1. 有 0. 無 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 0 時 0 0 分 ～ 2 4 時 0 0 分）
			病児保育 1. 有 0. 無 夜間保育 1. 有 0. 無
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か 1. 可 0. 不可
	保育補助（再掲）		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 1. 有 0. 無
			その他の補助（具体的に：
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）		休憩場所（1. 有 0. 無） 授乳スペース（1. 有 0. 無）
その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）		（ 企業主導型保育園 ）	
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）		1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ 人事課 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 3 名） 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）		窓口の名称を記入（ ハラスメント相談窓口 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 1 0 名） 0. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）		1. 有 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）		* 様式 6 に記入	

※欄は、記入しないこと。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030476 臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：京都第一赤十字病院群臨床研修プログラム 小児・成育医療コース プログラム番号： <u>030476211</u>																																	
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1年次： 3名、2年次： 3名																																	
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	<table border="1"> <tr> <td>フリガナ</td> <td>カナ</td> <td>ヨカ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">氏名（姓）</td> <td>（名）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">森田</td> <td>優香</td> </tr> <tr> <td>所属</td> <td colspan="2">役職</td> </tr> <tr> <td>人事課</td> <td colspan="2">主事</td> </tr> <tr> <td colspan="3">電 話：（０７５）５６１－１１２１</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ＦＡＸ：（０７５）５６１－６３０８</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e-mail： <u>education@kyoto1.jrc.or.jp</u></td> </tr> <tr> <td colspan="3">URL： <u>http://www.kyoto1-jrc.org/</u></td> </tr> </table>		フリガナ	カナ	ヨカ	氏名（姓）		（名）	森田		優香	所属	役職		人事課	主事		電 話：（０７５）５６１－１１２１			ＦＡＸ：（０７５）５６１－６３０８			e-mail： <u>education@kyoto1.jrc.or.jp</u>			URL： <u>http://www.kyoto1-jrc.org/</u>							
	フリガナ	カナ	ヨカ																																
氏名（姓）		（名）																																	
森田		優香																																	
所属	役職																																		
人事課	主事																																		
電 話：（０７５）５６１－１１２１																																			
ＦＡＸ：（０７５）５６１－６３０８																																			
e-mail： <u>education@kyoto1.jrc.or.jp</u>																																			
URL： <u>http://www.kyoto1-jrc.org/</u>																																			
	資料請求先	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">住所</td> </tr> <tr> <td colspan="3">〒 ６０５－０９８１ （ 京都 都・道・府・県）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">京都市東山区本町１５丁目７４９番地</td> </tr> <tr> <td>担当部門</td> <td colspan="2">担当者氏名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人事課</td> <td>フリガナ</td> <td>カナ</td> </tr> <tr> <td>姓</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>森田</td> <td>優香</td> </tr> <tr> <td colspan="3">電 話：（０７５）５６１－１１２１</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ＦＡＸ：（０７５）５６１－６３０８</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e-mail： <u>education@kyoto1.jrc.or.jp</u></td> </tr> <tr> <td colspan="3">URL： <u>http://www.kyoto1-jrc.org/</u></td> </tr> </table>		住所			〒 ６０５－０９８１ （ 京都 都・道・府・県）			京都市東山区本町１５丁目７４９番地			担当部門	担当者氏名		人事課	フリガナ	カナ	姓	名		森田	優香	電 話：（０７５）５６１－１１２１			ＦＡＸ：（０７５）５６１－６３０８			e-mail： <u>education@kyoto1.jrc.or.jp</u>			URL： <u>http://www.kyoto1-jrc.org/</u>		
住所																																			
〒 ６０５－０９８１ （ 京都 都・道・府・県）																																			
京都市東山区本町１５丁目７４９番地																																			
担当部門	担当者氏名																																		
人事課	フリガナ	カナ																																	
	姓	名																																	
	森田	優香																																	
電 話：（０７５）５６１－１１２１																																			
ＦＡＸ：（０７５）５６１－６３０８																																			
e-mail： <u>education@kyoto1.jrc.or.jp</u>																																			
URL： <u>http://www.kyoto1-jrc.org/</u>																																			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030476

臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）		募集方法		① 公募 2. その他（具体的に： ）					
		応募必要書類 （複数選択可）		① 履歴書、② 卒業（見込み）証明書、3. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： ）					
		選考方法 （複数選択可）		③ 面接 ④ 筆記試験 その他（具体的に： ）					
		募集及び選考の時期		募集時期： 5月20日頃から 選考時期： 7月31日頃から					
		マッチング利用の有無		① 有 0. 無					
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）				概要：＊ 別紙3に記入 （作成年月日：西暦2024年 4月25日）					
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊ プログラム責任者の履歴を様式2に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入				（プログラム責任者） カガナ ニシムラ 7キウ <table><tr><td>氏名（姓）</td><td>氏名（名）</td></tr><tr><td>西村</td><td>陽</td></tr></table> 所属 役職 新生児科部 新生児科部長 （副プログラム責任者） 1. 有（ 名） ① 無		氏名（姓）	氏名（名）	西村	陽
氏名（姓）	氏名（名）								
西村	陽								
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。				＊ 別紙4に記入					
34. インターネットを用いた評価システム				① 有（ ・EPOC ） 0. 無					
35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）				西暦2025年 4月 1日					
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）		処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）		1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。					
		常勤・非常勤の別		② 病院独自の処遇とする。					
		研修手当		① 常勤 2. 非常勤					
				<table><tr><td>一年次の支給額（税込み）</td><td>二年次の支給額（税込み）</td></tr><tr><td>基本手当／月（270,000円） 賞与／年（300,000円）</td><td>基本手当／月（285,000円） 賞与／年（300,000円）</td></tr></table>		一年次の支給額（税込み）	二年次の支給額（税込み）	基本手当／月（270,000円） 賞与／年（300,000円）	基本手当／月（285,000円） 賞与／年（300,000円）
一年次の支給額（税込み）	二年次の支給額（税込み）								
基本手当／月（270,000円） 賞与／年（300,000円）	基本手当／月（285,000円） 賞与／年（300,000円）								
				時間外手当： ① 有 0. 無 休日手当： 1. 有 ① 無					
		勤務時間		基本的な勤務時間（ 8：30 ～ 17：06 ）24時間表記 休憩時間（ 60分 ）					
				時間外勤務の有無：① 有 0. 無					
		休暇		有給休暇（1年次：10日、2年次：11日） 夏季休暇 ① 有 0. 無 年末年始 ① 有 0. 無 その他休暇（具体的に： 創立記念日 ）					
		当直		回数（約4回／月）					
		研修医の宿舍（再掲）		1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） ① 無（住宅手当：最高額28,500円 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。					
		研修医室（再掲）		① 有（ 1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。					
		社会保険・労働保険		公的医療保険（組合健康保険） 公的年金保険（厚生年金保険） 労働者災害補償保険法の適用 ① 有 0. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（1. 有 ① 無） 雇用保険 ① 有 0. 無）					

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030476 臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理		健康診断（年 2 回） その他（具体的に
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（1. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 0. 任意）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：1. 可 0. 否
			学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）		院内保育所の有無 1. 有 0. 無 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 0 時 0 0 分 ～ 2 4 時 0 0 分）
			病児保育 1. 有 0. 無 夜間保育 1. 有 0. 無
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か 1. 可 0. 不可
	保育補助（再掲）		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 1. 有 0. 無
			その他の補助（具体的に：
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）		休憩場所（1. 有 0. 無） 授乳スペース（1. 有 0. 無）
その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）		（ 企業主導型保育園 ）	
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）		1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ 人事課 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 3 名） 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）		窓口の名称を記入（ ハラスメント相談窓口 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 1 0 名） 0. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）		1. 有 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）		* 様式 6 に記入	

※欄は、記入しないこと。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030476 臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：京都第一赤十字病院群臨床研修プログラム 総合診療外科コース プログラム番号： <u>030476212</u>					
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		１年次： ３名、２年次： ４名					
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ カナ ローマ字 氏名（姓） （名） 森田 優香 所属 役職 人事課 主事 電　話：(０７５)５６１－１１２１ FAX：(０７５)５６１－６３０８ e-mail：<u>education@kyoto1.jrc.or.jp</u> URL：<u>http://www.kyoto1-jrc.org/</u>					
	資料請求先	住所 〒　６０５－０９８１　（　京都　都・道・ 府 ・県） 京都市東山区本町１５丁目７４番地					
		担当部門 人事課 担当者氏名 フリガナ カナ ローマ字 姓 名 森田 優香 電　話：(０７５)５６１－１１２１ FAX：(０７５)５６１－６３０８ e-mail：<u>education@kyoto1.jrc.or.jp</u> URL：<u>http://www.kyoto1-jrc.org/</u>					

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030476 臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）	募集方法	① 公募 2. その他（具体的に： ）	
	応募必要書類 （複数選択可）	① 履歴書、② 卒業（見込み）証明書、3. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： ）	
	選考方法 （複数選択可）	⑤ 面接 ⑥ 筆記試験 その他（具体的に： ）	
	募集及び選考の時期	募集時期： 5月20日頃から 選考時期： 7月31日頃から	
	マッチング利用の有無	① 有 0. 無	
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）		概要：＊ 別紙3に記入 （作成年月日：西暦2024年 4月25日）	
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊ プログラム責任者の履歴を様式2に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入	（プログラム責任者） フリガナ 材料 トル 氏名（姓） 大澤 氏名（名） 透 所属 役職 副院長 副院長兼第二整形外科部長 （副プログラム責任者） 1. 有（ 名） ① 無		
	33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。		
	34. インターネットを用いた評価システム ① 有（ ・EPOC ） 0. 無		
	35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入） 西暦2025年 4月 1日		
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。	
	常勤・非常勤の別	② 病院独自の処遇とする。 ① 常勤 2. 非常勤	
	研修手当	一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（270,000円） 賞与／年（300,000円）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（285,000円） 賞与／年（300,000円）
	勤務時間	時間外手当：① 有 0. 無 休日手当： 1. 有 ① 無 基本的な勤務時間（ 8：30 ～ 17：06 ）24時間表記 休憩時間（ 60分） 時間外勤務の有無：① 有 0. 無	
	休暇	有給休暇（1年次：10日、2年次：11日） 夏季休暇 ① 有 0. 無 年末年始 ① 有 0. 無 その他休暇（具体的に： 創立記念日 ）	
	当直	回数（約4回／月）	
	研修医の宿舍（再掲）	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） ① 無（住宅手当：最高額28,500円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室（再掲）	① 有（ 1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
	社会保険・労働保険	公的医療保険（組合健康保険） 公的年金保険（厚生年金保険） 労働者災害補償保険法の適用 ① 有 0. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（1. 有 ① 無） 雇用保険 ① 有 0. 無	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030476 臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理		健康診断（年 2 回） その他（具体的に
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（1. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 0. 任意）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：1. 可 0. 否
			学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）		院内保育所の有無 1. 有 0. 無 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 0 時 0 0 分 ～ 2 4 時 0 0 分）
			病児保育 1. 有 0. 無 夜間保育 1. 有 0. 無
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か 1. 可 0. 不可
	保育補助（再掲）		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 1. 有 0. 無
			その他の補助（具体的に：
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）		休憩場所（1. 有 0. 無） 授乳スペース（1. 有 0. 無）
その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）		（ 企業主導型保育園 ）	
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）		1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ 人事課 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 3 名） 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）		窓口の名称を記入（ ハラスメント相談窓口 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 1 0 名） 0. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）		1. 有 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）		* 様式 6 に記入	

※欄は、記入しないこと。

（記入要領）

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 （基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 （1. 有 0. 無）のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

- （1）「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- （2）「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- （3）「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

- （4）「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- （5）「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。）。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{\text{精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。}} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- （6）当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式3に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15 「救急医療の提供の実績」欄について

- （1）「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第186号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。
- （2）「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- （3）「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- （4）「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、全ての件数）、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365又は366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- （5）「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- （6）「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- （7）「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1 \div 2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（C P C）の実施状況」欄について
- （１）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したC P Cの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
- （２）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- （３）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「１．有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「０．無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （１）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「０．無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「０円」と記入すること。）。
- （２）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「０．無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （１）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「１．有」に○をつけ、利用できない場合には「０．無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- （２）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （１）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「１．中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「２．各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- （２）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「１．文書」、電子媒体により保存している場合には「２．電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （１）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「１．有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「０．無」に○をつけること。
- （２）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- （３）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「１．有」に○をつけ、有さない場合には「０．無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で１年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （１）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「１．有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「０．無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「１．可」に○をし、預けることができない場合は「０．不可」に○をすること。
- （２）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- （３）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。
- （４）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（１）～（３）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- （５）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。「１．有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいらない場合は「０．無」に○をすること。
- （６）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいらない場合は「０．無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「１．有」を選択した場合は、EP0C かその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている１年次及び２年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

- （１）「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「１．公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- （２）「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- （３）「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- （４）「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- （５）「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「１．有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「０．無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

- （１）「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、２に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、１に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、２に○をつけること。
- （２）「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、１年次及び２年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「１．有」に、支給しない場合には「０．無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- （３）「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「１．有」に、ない場合には「０．無」に○をつけること。
- （４）「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、１年次及び２年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- （５）「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- （６）「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- （７）「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- （８）「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- （９）「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）：京都第一赤十字病院（京都府）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在 都道府県	二次 医療圏	名称	新規	所在 都道府県	二次 医療圏	追加・ 削除	名称	新規	所在 都道府県	二次 医療圏	追加・ 削除	名称	新規	名称	定員
京都府	京都・ 乙訓	京都第一赤十字病院 (病院施設番号：030476)		京都府	山城北		宇治おうばく病院 (病院施設番号：031737)		京都府	丹後		京丹後市立弥栄病院 (病院施設番号：031025)		京都第一赤十字病院群臨床研修 プログラム総合診療内科コース	7
				京都府	京都・ 乙訓		京都九条病院 (病院施設番号：056804)		京都府	京都・ 乙訓		東山医師会所属診療所 (病院施設番号：034661)		京都第一赤十字病院群臨床研修 プログラム小児・成育医療コース	3
				京都府	中丹		舞鶴赤十字病院 (病院施設番号：076187)		京都府	京都・ 乙訓		薬師山病院 (病院施設番号：034646)		京都第一赤十字病院群臨床研修 プログラム総合診療外科コース	3
							(病院施設番号：)		京都府	京都・ 乙訓		社会福祉法人洛東園 (病院施設番号：034660)			
							(病院施設番号：)		京都府			京都市保健所 (病院施設番号：056720)			
							(病院施設番号：)		京都府	京都・ 乙訓		介護老人保健施設マムクオーレ (病院施設番号：066344)			
							(病院施設番号：)		京都府	南丹		国保京丹波町病院 (病院施設番号：097039)			
							(病院施設番号：)		京都府	山城北		京都田辺中央病院 (病院施設番号：137187)			
							(病院施設番号：)		京都府			京都府赤十字血液センター (病院施設番号：034645)			
							(病院施設番号：)		京都府			伏見消防署 (病院施設番号：034494)			
							(病院施設番号：)		京都府			北消防署 (病院施設番号：036076)			
							(病院施設番号：)		京都府			上京消防署 (病院施設番号：036077)			
							(病院施設番号：)		京都府			左京消防署 (病院施設番号：036078)			
							(病院施設番号：)		京都府			中京消防署 (病院施設番号：036079)			
							(病院施設番号：)		京都府			東山消防署 (病院施設番号：036080)			
							(病院施設番号：)		京都府			山科消防署 (病院施設番号：036081)			
							(病院施設番号：)		京都府			下京消防署 (病院施設番号：036082)			
							(病院施設番号：)		京都府			南消防署 (病院施設番号：036083)			
							(病院施設番号：)		京都府			右京消防署 (病院施設番号：036084)			
							(病院施設番号：)		京都府			西京消防署 (病院施設番号：036085)			
							(病院施設番号：)		京都府			伏見消防署醍醐消防分署 (病院施設番号：036086)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

同一医療圏では、地域医療の中でも特に在宅・訪問診療について十分な研修が難しいため。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の
所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、
それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が
以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6.研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度開催回数3回）

病院施設番号： 030476 臨床研修病院の名称：

京都第一赤十字病院

氏 名	所 属	役 職	備 考
大辻 英吾	京都第一赤十字病院	院長	研修管理委員長 研修実施責任者
岡 正悟	宇治おうばく病院	院長	研修実施責任者
沢田 尚久	京都第一赤十字病院	副院長	臨床研修指導医
齋藤 信雄	洛和会東寺南病院	名誉院長	外部委員
池田 雄史	京都市保健所	京都市保健所長	研修実施責任者
原田 剛史	東山医師会	会長	研修実施責任者
平松 真	薬師山病院	院長	研修実施責任者
松井 淳琪	京都九条病院	院長	研修実施責任者
神谷 匡昭	京丹後市立弥栄病院	院長	研修実施責任者
野口 明則	京都田辺中央病院	院長	研修実施責任者
垣田 秀治	国保京丹波町病院	院長	研修実施責任者
西村 英亮	社会福祉法人 洛東園	園長	研修実施責任者
依田 建吾	介護老人保健施設 マム クオーレ	施設長	研修実施責任者
射場 俊行	京都市消防局	救急課長	研修実施責任者
片山 義敬	舞鶴赤十字病院	院長	研修実施責任者
堀池 重夫	京都府赤十字血液センター	所長	研修実施責任者
福田 秀樹	福田式賃金管理事務所	社会保険労務士	外部委員
大澤 透	京都第一赤十字病院	副院長兼第二整形外科部長	プログラム責任者
上島 康生	京都第一赤十字病院	副院長兼呼吸器外科部長	臨床研修指導医
尾本 篤志	京都第一赤十字病院	総合内科部長	プログラム責任者
西村 陽	京都第一赤十字病院	新生児科部長兼小児科部長	プログラム責任者
安 炳文	京都第一赤十字病院	救急科 E R 部長	臨床研修指導医
土谷 有美	京都第一赤十字病院	薬剤部長	
濱嶋 一成	京都第一赤十字病院	研修医師（二年）	

6.研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 5 年度開催回数3回）

病院施設番号： 030476 臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

氏 名	所 属	役 職	備 考
藤本 峻平	京都第一赤十字病院	研修医師（一年）	
綾城 義治	京都第一赤十字病院	事務部長	
福井 義行	京都第一赤十字病院	人事課長	
吉村 恵	京都第一赤十字病院	人事課長補佐	

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。
「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。
欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

12.診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和５年度分)

									臨 床 研 修 病 院 の 名 称		京 都 第 一 赤 十 字 病 院					
									病 院 施 設 番 号		0 3 0 4 7 6					
区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 （ 部 門 ）	小 児 科	産 婦 人 科			精 神 科	病院で定めた 必修科目の診療科			その他の 研修を行う診療科			合 計
							又は						放 射 線 科	シ リ ハ ビ ヨ ン テ ー 科	病 理 診 断 科	
							産 科	婦 人 科								
年間入院患者実数 （ ）内は救急件数又は分娩件数	4,148	4,735 (15,402)	4,091		707	1,173 (482)		(0)	0				0			14,854
年間新外来患者数	3,480	6,063	6,213		1,072	1,190			106				234			18,358
1 日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	492.9 (241)	13.7 (366)	457.7 (241)	(0)	53.2 (241)	72.4 (241)	(0)	(0)	36.8 (241)	(0)	(0)	(0)	20.4 (241)	(0)	(0)	
平均在院日数	12.7	12.8	11.0		9.1	9.3										
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	72.0 (33)	13.0 (6)	60.0 (29)	12.0 (5)	21.0 (5)	10.0 (4)	(0)	(0)	2.0 (1)	(0)	(0)	(0)	13.0 (4)	2.0 (1)	4.0 (2)	209.0 (90)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、１０．の救急医療の実績の前年度の件数及び１４．の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和5年度分)		臨床研修病院病院の名称					京都第一赤十字病院							
		病院施設番号					030476							
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
京都第一赤十字病院	内科	13	17	8	9	9	9	9	9	7	8	6	8	8
京都府立医科大学附属病院	内科	6	5	6	2	2	4	3	3	2	0	4	6	6
京都第一赤十字病院	救急部門	5	4	2	1	2	3	3	2	4	3	3	3	3
京都府立医科大学附属病院	救急部門	0	2	1	3	4	1	2	1	1	3	1	0	0
福井赤十字病院	救急部門	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
京都民医連中央病院	救急部門	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
京都第一赤十字病院	麻酔科	4	3	4	3	3	3	3	2	1	3	3	4	4
京都府立医科大学附属病院	麻酔科	0	0	0	1	1	1	1	2	3	2	1	0	0
京都第一赤十字病院	小児科	1	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
京都府立医科大学附属病院	小児科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
京都岡本記念病院	小児科	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
京都第一赤十字病院	産婦人科	1	1	1	1	2	2	1	2	2	1	1	1	1
京都府立医科大学附属病院	産婦人科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都岡本記念病院	産婦人科	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
明石市立市民病院	産婦人科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都第一赤十字病院	外科	4	3	3	3	3	3	1	2	3	1	2	3	3
京都府立医科大学附属病院	外科	1	1	0	1	1	1	2	1	1	2	2	0	0
研修医数（合計）	内科	19	22	14	11	11	13	12	12	9	8	10	14	14
	救急部門	5	6	4	4	6	5	5	3	6	6	5	3	3
	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外科	5	4	3	4	4	4	3	3	4	3	4	3	3
	麻酔科	4	3	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4
	小児科	1	1	2	2	2	3	3	3	2	2	3	2	2
	産婦人科	2	1	2	2	3	2	2	2	3	1	2	1	1
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 6 年 度 分)		臨 床 研 修 病 院 病 院 の 名 称					京 都 第 一 赤 十 字 病 院								
		病 院 施 設 番 号					0 3 0 4 7 6								
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週	
京都第一赤十字病院	内 科	14	16	10	10	8	9	10	8	8	10	9	7	7	
京都府立医科大学附属医院	内 科	6	5	5	2	3	3	1	3	3	2	4	7	7	
京都第一赤十字病院	救 急 部 門	4	4	2	3	3	2	2	2	4	2	3	3	3	
京都府立医科大学附属医院	救 急 部 門	1	1	1	1	2	2	3	2	2	3	2	0	0	
福井赤十字病院	救 急 部 門	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
京都民医連中央病院	救 急 部 門	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都第一赤十字病院	麻 酔 科	4	3	3	2	3	3	2	3	3	2	4	3	3	
京都府立医科大学附属医院	麻 酔 科	0	0	1	2	1	1	2	1	2	2	0	0	0	
京都第一赤十字病院	小 児 科	1	0	2	2	2	2	2	2	2	1	0	2	2	
京都府立医科大学附属医院	小 児 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
京都岡本記念病院	小 児 科	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
京都第一赤十字病院	産 婦 人 科	1	1	2	2	1	2	2	2	1	1	2	2	2	
京都府立医科大学附属医院	産 婦 人 科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都岡本記念病院	産 婦 人 科	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	
明石市立市民病院	産 婦 人 科	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
松下記念病院	産 婦 人 科	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
京都第一赤十字病院	外 科	4	3	2	2	3	2	3	3	3	2	3	3	3	
京都府立医科大学附属医院	外 科	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	
研修医数（合計）	内 科	20	21	15	12	11	12	11	11	11	12	13	14	14	
	救 急 部 門	5	5	4	4	5	5	5	4	6	5	5	3	3	
	地 域 医 療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外 科	5	4	3	4	4	3	4	4	4	3	4	3	3	
	麻 酔 科	4	3	4	4	4	4	4	4	5	4	4	3	3	
	小 児 科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	産 婦 人 科	1	2	3	3	3	3	3	2	3	1	2	3	2	
	精 神 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一 般 外 来		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 7 年 度 分)		臨 床 研 修 病 院 病 院 の 名 称					京 都 第 一 赤 十 字 病 院								
		病 院 施 設 番 号					0 3 0 4 7 6								
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週	
京都第一赤十字病院	内 科	14	16	10	10	8	9	10	8	8	10	9	7	7	
京都府立医科大学附属病院	内 科	6	5	5	2	3	3	1	3	3	2	4	7	7	
京都第一赤十字病院	救 急 部 門	4	4	2	3	3	2	2	2	4	2	3	3	3	
京都府立医科大学附属病院	救 急 部 門	1	1	1	1	2	2	3	2	2	3	2	0	0	
福井赤十字病院	救 急 部 門	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
京都民医連中央病院	救 急 部 門	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都第一赤十字病院	麻 酔 科	4	3	3	2	3	3	2	3	3	2	4	3	3	
京都府立医科大学附属病院	麻 酔 科	0	0	1	2	1	1	2	1	2	2	0	0	0	
京都第一赤十字病院	小 児 科	1	0	2	2	2	2	2	2	2	1	0	2	2	
京都府立医科大学附属病院	小 児 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
京都岡本記念病院	小 児 科	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
京都第一赤十字病院	産 婦 人 科	1	1	2	2	1	2	2	2	1	1	2	2	2	
京都府立医科大学附属病院	産 婦 人 科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都岡本記念病院	産 婦 人 科	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	
明石市立市民病院	産 婦 人 科	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
松下記念病院	産 婦 人 科	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
京都第一赤十字病院	外 科	4	3	2	2	3	2	3	3	3	2	3	3	3	
京都府立医科大学附属病院	外 科	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	
研修医数（合計）	内 科	20	21	15	12	11	12	11	11	11	12	13	14	14	
	救 急 部 門	5	5	4	4	5	5	5	4	6	5	5	3	3	
	地 域 医 療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外 科	5	4	3	4	4	3	4	4	4	3	4	3	3	
	麻 酔 科	4	3	4	4	4	4	4	4	5	4	4	3	3	
	小 児 科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	産 婦 人 科	1	2	3	3	3	3	3	2	3	1	2	3	2	
	精 神 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一 般 外 来		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 8 年 度 分)		臨床研修病院 病院の名称					京都第一赤十字病院							
		病院 施設 番号					0 3 0 4 7 6							
基幹型病院名	担当分野	<u>1～</u> 4週	<u>5～</u> 8週	<u>9～</u> 12週	<u>13～</u> 16週	<u>17～</u> 20週	<u>21～</u> 24週	<u>25～</u> 28週	<u>29～</u> 32週	<u>33～</u> 36週	<u>37～</u> 40週	<u>41～</u> 44週	<u>45～</u> 48週	<u>49～</u> 52週
京都第一赤十字病院	内 科	14	16	10	10	8	9	10	8	8	10	9	7	7
京都府立医科大学附属病院	内 科	6	5	5	2	3	3	1	3	3	2	4	7	7
京都第一赤十字病院	救 急 部 門	4	4	2	3	3	2	2	2	4	2	3	3	3
京都府立医科大学附属病院	救 急 部 門	1	1	1	1	2	2	3	2	2	3	2	0	0
福井赤十字病院	救 急 部 門	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
京都民医連中央病院	救 急 部 門	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都第一赤十字病院	麻 酔 科	4	3	3	2	3	3	2	3	3	2	4	3	3
京都府立医科大学附属病院	麻 酔 科	0	0	1	2	1	1	2	1	2	2	0	0	0
京都第一赤十字病院	小 児 科	1	0	2	2	2	2	2	2	2	1	0	2	2
京都府立医科大学附属病院	小 児 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
京都岡本記念病院	小 児 科	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
京都第一赤十字病院	産 婦 人 科	1	1	2	2	1	2	2	2	1	1	2	2	2
京都府立医科大学附属病院	産 婦 人 科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都岡本記念病院	産 婦 人 科	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
明石市立市民病院	産 婦 人 科	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
松下記念病院	産 婦 人 科	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
京都第一赤十字病院	外 科	4	3	2	2	3	2	3	3	3	2	3	3	3
京都府立医科大学附属病院	外 科	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0
研修医数（合計）	内 科	20	21	15	12	11	12	11	11	11	12	13	14	14
	救 急 部 門	5	5	4	4	5	5	5	4	6	5	5	3	3
	地 域 医 療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外 科	5	4	3	4	4	3	4	4	4	3	4	3	3
	麻 酔 科	4	3	4	4	4	4	4	4	5	4	4	3	3
	小 児 科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	産 婦 人 科	1	2	3	3	3	3	3	2	3	1	2	3	2
	精 神 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一 般 外 来		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

29.研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030476210

病院施設番号： 030476

臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

臨床研修病院群番号： 0304762

臨床研修病院群名： 京都第一赤十字病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1.研修プログラム名称	京都第一赤十字病院群臨床研修プログラム総合診療内科コース					
2.研修プログラムの特色	1年次は必須分野、本コース必須科目を中心として、内科・救急科・麻酔科・外科をローテートし、臨床医としての基礎を構築する。2年次は必須分野として、小児科4週間・産婦人科4週間・地域医療4週間・精神科4週間のほか、選択期間32週間を設けているのが特徴であり、個々のニーズに応じ幅広い知識と技能が得られるよう配慮されている。					
3.臨床研修の目標の概要	研修理念「医師としての人格を涵養し、将来の専門性に関わらず医学、医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリケアの基本的な診断能力（態度、技能、知識）を身につける」を達成するため、内科系科目を中心として行動目標、経験目標を定め研修を行う。					
4.研修期間	(2)年（原則として、「2年」と記入してください。）					
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。					
5.臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間） * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。 各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。					
	病院施設番号	病院又は施設の名称		研修期間	内一般外来	
(記入例) ××科	1234567	〇〇病院		〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030476	京都第一赤十字病院	32週	2週	
	救急部門	030476	京都第一赤十字病院	8週		
	地域医療	076187	舞鶴赤十字病院	4週	一般外来	1週
		031025	京丹後市立弥栄病院		在宅診療	1週
		137187	医療法人社団石鎚会京都田辺中央病院			
		034646	一般社団法人薬師山病院			
		034661	東山医師会所属診療所			
	097039	国保京丹波町病院				
	外科	030476	京都第一赤十字病院	8週		週
	小児科	030476	京都第一赤十字病院	4週		1週
産婦人科	030476	京都第一赤十字病院	4週			
精神科	031737	宇治おうばく病院	4週			
一般外来 (単独実施のみ)				週		
病院必修で科定めた	麻酔科	030476	京都第一赤十字病院	8週		週
				週		週
				週		週
				週		週
				週		週
選択科目	全科	030476	京都第一赤十字病院	32週		週
				週		週

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低96週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大8週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りではない。
研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約20回
救急部門(必修)における麻酔科の研修期間・・・0週※但し、4週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・総合内科、小児科、地域医療 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

病 院 施 設 番 号 :	030476	臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :	京都第一赤十字病院
臨床研修病院群番号:	0304762	臨 床 研 修 病 院 群 名 :	京都第一赤十字病院群

プログラム番号： 030476210

(No. 1)

[illegible]

*3: 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

病 院 施 設 番 号 :	030476	臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :	京 都 第 一 赤 十 字 病 院
臨 床 研 修 病 院 群 番 号 :	0304762	臨 床 研 修 病 院 群 名 :	京 都 第 一 赤 十 字 病 院 群

プログラム番号： 030476210

(No. 1)

[illegible]

*3: 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

29.研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030476211

病院施設番号： 030476

臨床研修病院群番号： 0304762

臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

臨床研修病院群名： 京都第一赤十字病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1.研修プログラム名称	京都第一赤十字病院群臨床研修小児・産婦人科コース																																																																													
2.研修プログラムの特色	1年次は必須分野、本コース必須科目を中心として、内科・救急科・麻酔科・外科・小児科・産婦人科をローテーションし、臨床医としての基礎を構築する。2年次は必須分野として、地域医療4週間・精神科4週間のほか、小児・産婦人科系診療科選択期間8週間、全科選択期間32週間を設けているのが特徴であり、個々のニーズに応じ幅広い知識と技能が得られるよう配慮されている。																																																																													
3.臨床研修の目標の概要	研修理念「医師としての人格を涵養し、将来の専門性に関わらず医学、医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリケアの基本的な診断能力（態度、技能、知識）を身につける」を達成するため、内科系科目を中心として行動目標、経験目標を定め研修を行う。																																																																													
4.研修期間	(2)年（原則として、「2年」と記入してください。）																																																																													
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。																																																																													
5.臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間） * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。 * 各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>病院施設番号</th> <th>病院又は施設の名称</th> <th>研修期間</th> <th>内一般外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(記入例) ××科</td> <td>1234567</td> <td>〇〇病院</td> <td>〇週</td> <td>〇週</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">必修科目・分野</td> <td>内科</td> <td>030476 京都第一赤十字病院</td> <td>24週</td> <td>2週</td> </tr> <tr> <td>救急部門</td> <td>030476 京都第一赤十字病院</td> <td>8週</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域医療</td> <td>076187 舞鶴赤十字病院 031025 京丹後市立弥栄病院 137187 医療法人社団石鎚会京都田辺中央病院 034646 一般社団法人薬師山病院 034661 東山医師会所属診療所 097039 国保京丹波町病院</td> <td>4週</td> <td>一般外来 1週 在宅診療 1週</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>030476 京都第一赤十字病院</td> <td>8週</td> <td>1週</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>030476 京都第一赤十字病院</td> <td>4週</td> <td>週</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>030476 京都第一赤十字病院</td> <td>4週</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>031737 宇治おうばく病院</td> <td>4週</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般外来 (単独実施のみ)</td> <td></td> <td>週</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">病院必修で科定めた</td> <td>麻酔科</td> <td>030476 京都第一赤十字病院</td> <td>8週</td> <td>週</td> </tr> <tr> <td>小児・産婦人科系診療科</td> <td>030476 京都第一赤十字病院</td> <td>8週</td> <td>週</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>週</td> <td>週</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>週</td> <td>週</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>週</td> <td>週</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">選択科目</td> <td>全科</td> <td>030476 京都第一赤十字病院</td> <td>32週</td> <td>週</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>週</td> <td>週</td> </tr> </tbody> </table> 備考：基幹型臨床研修病院での研修期間…最低96週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間…最大8週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りではない。 研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数…約20回 救急部門(必修)における麻酔科の研修期間…0週※但し、4週を上限とする 一般外来の研修を行う診療科…総合内科、小児科、地域医療 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること						病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	(記入例) ××科	1234567	〇〇病院	〇週	〇週	必修科目・分野	内科	030476 京都第一赤十字病院	24週	2週	救急部門	030476 京都第一赤十字病院	8週		地域医療	076187 舞鶴赤十字病院 031025 京丹後市立弥栄病院 137187 医療法人社団石鎚会京都田辺中央病院 034646 一般社団法人薬師山病院 034661 東山医師会所属診療所 097039 国保京丹波町病院	4週	一般外来 1週 在宅診療 1週	外科	030476 京都第一赤十字病院	8週	1週	小児科	030476 京都第一赤十字病院	4週	週	産婦人科	030476 京都第一赤十字病院	4週		精神科	031737 宇治おうばく病院	4週		一般外来 (単独実施のみ)		週		病院必修で科定めた	麻酔科	030476 京都第一赤十字病院	8週	週	小児・産婦人科系診療科	030476 京都第一赤十字病院	8週	週			週	週			週	週			週	週	選択科目	全科	030476 京都第一赤十字病院	32週	週			週	週
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来																																																																										
(記入例) ××科	1234567	〇〇病院	〇週	〇週																																																																										
必修科目・分野	内科	030476 京都第一赤十字病院	24週	2週																																																																										
	救急部門	030476 京都第一赤十字病院	8週																																																																											
	地域医療	076187 舞鶴赤十字病院 031025 京丹後市立弥栄病院 137187 医療法人社団石鎚会京都田辺中央病院 034646 一般社団法人薬師山病院 034661 東山医師会所属診療所 097039 国保京丹波町病院	4週	一般外来 1週 在宅診療 1週																																																																										
	外科	030476 京都第一赤十字病院	8週	1週																																																																										
	小児科	030476 京都第一赤十字病院	4週	週																																																																										
	産婦人科	030476 京都第一赤十字病院	4週																																																																											
	精神科	031737 宇治おうばく病院	4週																																																																											
	一般外来 (単独実施のみ)		週																																																																											
	病院必修で科定めた	麻酔科	030476 京都第一赤十字病院	8週	週																																																																									
		小児・産婦人科系診療科	030476 京都第一赤十字病院	8週	週																																																																									
			週	週																																																																										
			週	週																																																																										
			週	週																																																																										
選択科目	全科	030476 京都第一赤十字病院	32週	週																																																																										
			週	週																																																																										

病 院 施 設 番 号 :	030476	臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :	京 都 第 一 赤 十 字 病 院
臨 床 研 修 病 院 群 番 号 :	0304762	臨 床 研 修 病 院 群 名 :	京 都 第 一 赤 十 字 病 院 群

プログラム番号： 030476211

(No. 1)

[illegible]

*3: 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

病 院 施 設 番 号 :	030476	臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :	京 都 第 一 赤 十 字 病 院
臨 床 研 修 病 院 群 番 号 :	0304762	臨 床 研 修 病 院 群 名 :	京 都 第 一 赤 十 字 病 院 群

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1 (No.1)

*1:臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

*2:「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

*3:選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

29.研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030476212

病院施設番号： 030476

臨床研修病院群番号： 0304762

臨床研修病院の名称： 京都第一赤十字病院

臨床研修病院群名： 京都第一赤十字病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1.研修プログラム名称	京都第一赤十字病院群臨床研修プログラム総合診療外科コース					
2.研修プログラムの特色	1年次は必須分野、本コース必須科目を中心として、内科・救急科・麻酔科・外科・外科系診療科をローテートし、臨床医としての基礎を構築する。2年次は必須分野として、小児科4週間・産婦人科4週間・地域医療4週間・精神科4週間のほか、選択期間32週間を設けているのが特徴であり、個々のニーズに応じ幅広い知識と技能が得られるよう配慮されている。					
3.臨床研修の目標の概要	研修理念「医師としての人格を涵養し、将来の専門性に関わらず医学、医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリケアの基本的な診断能力（態度、技能、知識）を身につける」を達成するため、内科系科目を中心として行動目標、経験目標を定め研修を行う。					
4.研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)					
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。					
5.臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設(研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称(病院施設番号)を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。 * 各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。					
	病院施設番号	病院又は施設の名称		研修期間	内一般外来	
(記入例) ××科	1234567	〇〇病院		〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030476	京都第一赤十字病院	24週	2週	
	救急部門	030476	京都第一赤十字病院	8週		
	地域医療	076187	舞鶴赤十字病院	4週	一般外来	1週
		031025	京丹後市立弥栄病院		在宅診療	1週
		137187	医療法人社団石鎚会京都田辺中央病院			
		034646	一般社団法人薬師山病院			
		034661	東山医師会所属診療所			
	097039	国保京丹波町病院				
	外科	030476	京都第一赤十字病院	8週	週	
	小児科	030476	京都第一赤十字病院	4週	1週	
産婦人科	030476	京都第一赤十字病院	4週			
精神科	031737	宇治おうばく病院	4週			
一般外来 (単独実施のみ)			週			
病院必修で科定めた	麻酔科	030476	京都第一赤十字病院	12週	週	
	外科系診療科	030476	京都第一赤十字病院	4週	週	
				週	週	
				週	週	
				週	週	
選択科目	全科	030476	京都第一赤十字病院	32週	週	
				週	週	
備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低96週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大8週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りではない。 研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約20回 救急部門(必修)における麻酔科の研修期間・・・0週※但し、4週を上限とする 一般外来の研修を行う診療科・・・総合内科、小児科、地域医療 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること						

病 院 施 設 番 号 :	030476	臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :	京都第一赤十字病院
臨床研修病院群番号:	0304762	臨 床 研 修 病 院 群 名 :	京都第一赤十字病院群

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊1 (No.1)

[illegible]

*1:臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

*2:「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

*3:選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

病 院 施 設 番 号：	030476	臨 床 研 修 病 院 の 名 称：	京都第一赤十字病院
臨床研修病院群番号：	0304762	臨床研修病院群名：	京都第一赤十字病院群

6.研修スケジュール(二年度)

プログラム番号：030476212

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊1

(No.1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 *2	1～4週				5～8週				9～12週				13～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
京都第一赤十字病院 (030476)	救急科	3	3	3	3																																																
宇治おうばく病院 (031737)	精神科									3	3	3	3																																								
京都第一赤十字病院 (030476)	小児科					3	3	3	3																																												
京都第一赤十字病院 (030476)	産婦人科												3	3	3	3																																					
京都第一赤十字病院 (030476)	選択科目 (全科)																	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3			
舞鶴赤十字病院 (076187)	地域医療														1	1	1	1																																			
京丹後市立弥栄病院 (031025)	地域医療														1	1	1	1																																			
医療法人社団石鎚会京都田辺中央病院 (137187)	地域医療														1	1	1	1																																			

＊1:臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

＊2:「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊3:選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

病 院 施 設 番 号 : 0 3 0 4 7 6

臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :

京都第一赤十字病院

	担当分野①	担当分野② （兼任及び その他の 診療科）	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 （常勤or 非常勤）	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
1	外科	外科	消化器外科	○	大辻 英吾	京都第一赤十字病院	院長	40年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会 受講修了（京都府立医科大学附 属病院）	3
2	内科	内科	循環器内科	○	沢田 尚久	京都第一赤十字病院	副院長	38年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会 受講修了（京都府立医科大学附 属病院）	4
3	その他	整形外科	整形外科	○	大澤 透	京都第一赤十字病院	副院長	33年	常勤	○	平成21年度 指導医養成講習会 受講修了（第1回大阪赤十字病 院）	1・4
4	その他	外科	呼吸器外科	○	上島 康生	京都第一赤十字病院	副院長	38年	常勤	○	平成17年度 指導医養成講習会 受講修了（四病院団体協議会）	4
5	内科	内科	消化器内科	○	佐藤 秀樹	京都第一赤十字病院	院長補佐	33年	常勤	○	平成21年度 指導医養成講習会 （第1回京都第二赤十字病院）	4
6	救急部門	救急部門	救急科	○	高階 謙一郎	京都第一赤十字病院	救命救急センター長	39年	常勤	○	指導医養成講習会受講修了（詳 細不明）	4
7	内科	内科	総合内科	○	尾本 篤志	京都第一赤十字病院	診療科部長	28年	常勤	○	平成21年度 指導医養成講習会 受講修了（第1回京都第一赤十字 病院）	1・4
8	内科	内科	リウマチ内科	○	和田 誠	京都第一赤十字病院	診療科部長	26年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会 受講修了（第66回全国自治体病 院協議会）	4
9	内科	内科	リウマチ内科	○	磯田 有	京都第一赤十字病院	医師	14年	常勤	○	令和5年度 指導医養成講習会受 講修了（第34回日本赤十字社）	4
10	内科	内科	糖尿病・内分泌 内科	○	田中 亨	京都第一赤十字病院	診療科部長	37年	常勤	○	平成23年度 指導医養成講習会 受講修了（第5回京都府立医科大 学附属病院）	4
11	内科	内科	糖尿病・内分泌 内科	○	岩瀬 広哉	京都第一赤十字病院	診療科副部長	20年	常勤	○	平成29年度 指導医養成講習会 受講修了（第11回京都府立医科 大学附属病院）	4
12	内科	内科	呼吸器内科	○	弓場 達也	京都第一赤十字病院	診療科部長	25年	常勤	○	平成28年度 指導医養成講習会 受講修了（第23回日本赤十字 社）	4
13	内科	内科	血液内科	○	内山 人二	京都第一赤十字病院	診療科部長	35年	常勤	○	平成24年度 指導医養成講習会 受講修了（第14回日本赤十字 社）	4
14	内科	内科	血液内科	○	松本 洋典	京都第一赤十字病院	診療科副部長	26年	常勤	○	指導医養成講習会（詳細不明）	4
15	内科	内科	血液内科	○	古林 勉	京都第一赤十字病院	診療科副部長	22年	常勤	○	平成24年度 指導医養成講習会 受講修了（第6回京都府立医科大 学附属病院）	4

病 院 施 設 番 号 : 030476

臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :

京都第一赤十字病院

	担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有:○ 無:×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
16	内科	内科	消化器内科	○	奥山 祐右	京都第一赤十字病院	診療科部長	34年	常勤	○	平成18年度 指導医養成講習会 受講修了(第3回日本赤十字社)	4
17	内科	内科	消化器内科	○	戸祭 直也	京都第一赤十字病院	診療科副部長	29年	常勤	○	平成21年度 指導医養成講習会 受講修了(第1回京都第一赤十字 病院)	4
18	内科	内科	消化器内科	○	藤井 秀樹	京都第一赤十字病院	診療科副部長	27年	常勤	○	平成28年度 指導医養成講習会 受講修了(第13回京都府医師 会)	4
19	内科	内科	消化器内科	○	西村 健	京都第一赤十字病院	医師	22年	常勤	○	平成27年度 指導医養成講習会 受講修了(第9回京都府立医科大 学附属病院)	4
20	内科	内科	消化器内科	○	福居 顕文	京都第一赤十字病院	医師	21年	常勤	○	平成28年度 指導医養成講習会 受講修了(第13回京都府医師 会)	4
21	内科	内科	消化器内科	○	稲田 裕	京都第一赤十字病院	医師	18年	常勤	○	令和4年度 指導医養成講習会受 講修了(第33回日本赤十字社)	4
22	内科	内科	消化器内科	○	田中 信	京都第一赤十字病院	医師	17年	常勤	○	平成29年度 指導医養成講習会 受講修了(第7回滋賀県病院協 会)	4
23	内科	内科	循環器内科	○	兵庫 匡幸	京都第一赤十字病院	診療科部長	31年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会 受講修了(第1回京都第二赤十字 病院)	4
24	内科	内科	循環器内科	○	木下 英吾	京都第一赤十字病院	診療科副部長	22年	常勤	○	平成28年度 指導医養成講習会 受講修了(第22回日本赤十字 社)	4
25	内科	内科	循環器内科	○	中川 裕介	京都第一赤十字病院	診療科副部長	22年	常勤	○	平成23年度 指導医養成講習会 受講修了(第100回全国自治体病 院協議会)	4
26	内科	内科	循環器内科	○	小島 章光	京都第一赤十字病院	医師	17年	常勤	○	令和2年度 指導医養成講習会受 講修了(第17回京都府医師会)	4
27	内科	内科	脳神経・脳卒中 科	○	今井 啓輔	京都第一赤十字病院	診療科部長	30年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会 受講修了(第1回京都第二赤十字 病院)	4
28	内科	内科	脳神経・脳卒中 科	○	山田 丈弘	京都第一赤十字病院	診療科副部長	20年	常勤	○	指導医養成講習会(詳細不明)	4
29	内科	内科	呼吸器内科	○	今林 達哉	京都第一赤十字病院	医師	16年	常勤	○	令和5年度 指導医養成講習会受 講修了(第17回京都府立医科大 学附属病院)	4
30	内科	内科	腎臓内科	○	中ノ内 恒如	京都第一赤十字病院	診療科部長	30年	常勤	○	平成21年度 指導医養成講習会 受講修了(第1回京都第一赤十字 病院)	4

病 院 施 設 番 号 : 030476

臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :

京都第一赤十字病院

	担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有:○ 無:×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
31	内科	内科	腎臓内科	○	太田 矩義	京都第一赤十字病院	診療科副部長	17年	常勤	○	令和3年度 指導医養成講習会受講修了(第15回京都府立医科大学附属病院)	4
32	内科	内科	腎臓内科	○	中山 雅由花	京都第一赤十字病院	医師	21年	常勤	○	平成25年度 指導医養成講習会受講修了(第10回京都府医師会)	4
33	外科	外科	消化器外科	○	岡本 和真	京都第一赤十字病院	診療科部長	35年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会受講修了(京都府立医科大学附属病院)	4
34	外科	外科	消化器外科	○	栗生 宣明	京都第一赤十字病院	診療科副部長	28年	常勤	○	平成26年度 指導医養成講習会受講修了(第8回京都府立医科大学附属病院)	4
35	外科	外科	消化器外科	○	小松 周平	京都第一赤十字病院	診療科副部長	25年	常勤	○	平成30年度 指導医養成講習会受講修了(第12回京都府立医科大学附属病院)	4
36	外科	外科	消化器外科	○	下村 克己	京都第一赤十字病院	診療科副部長	29年	常勤	○	平成19年度 指導医養成講習会受講修了(第5回日本赤十字社)	4
37	外科	外科	消化器外科	○	生駒 久視	京都第一赤十字病院	診療科副部長	28年	常勤	○	平成27年度 指導医養成講習会受講修了(第9回京都府立医科大学附属病院)	4
38	その他	外科	乳腺外科	○	糸井 尚子	京都第一赤十字病院	診療科部長	25年	常勤	○	平成24年度 指導医養成講習会受講修了(第4回滋賀県病院協会)	4
39	その他	外科	乳腺外科	○	李 哲柱	京都第一赤十字病院	診療科顧問	42年	常勤	○	平成27年度 指導医養成講習会受講修了(第12回京都府医師会)	4

病 院 施 設 番 号 : 030476

臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :

京都第一赤十字病院

	担当分野①	担当分野② （兼任及び その他の 診療科）	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 （常勤or 非常勤）	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
40	その他	外科	小児外科	○	出口 英一	京都第一赤十字病院	診療科部長	44年	常勤	○	平成21年度 指導医養成講習会 受講修了（第1回京都第一赤十字 病院）	4
41	その他	外科	小児外科	○	坂井 宏平	京都第一赤十字病院	診療科副部長	21年	常勤	○	令和3年度 指導医養成講習会受 講修了（第31回日本赤十字社）	4
42	その他	外科	呼吸器外科	○	石原 駿太	京都第一赤十字病院	医師	15年	常勤	○	令和3年度 指導医養成講習会受 講修了（第15回京都府立医科学 大学附属病院）	4
43	その他	形成外科	形成外科	○	岩井 伸哉	京都第一赤十字病院	診療科部長	20年	常勤	○	平成28年度 指導医養成講習会 受講修了（第25回京都大学医学 部附属病院）	4
44	その他	外科	心臓血管外科	○	高橋 章之	京都第一赤十字病院	診療科部長	36年	常勤	○	平成24年度 指導医養成講習会 受講修了（第14回日本赤十字 社）	4
45	その他	外科	心臓血管外科	○	大川 和成	京都第一赤十字病院	診療科副部長	28年	常勤	○	平成25年度 指導医養成講習会 受講修了（第7回京都府立医科学 大学附属病院）	4
46	その他	整形外科	整形外科	○	植田 秀貴	京都第一赤十字病院	診療科部長	29年	常勤	○	平成26年度 指導医養成講習会 受講修了（第11回京都府医師 会）	4
47	その他	整形外科	整形外科	○	奥村 弥	京都第一赤十字病院	診療科副部長	27年	常勤	○	平成30年度 指導医養成講習会 受講修了（第27回日本赤十字 社）	4
48	その他	整形外科	整形外科	○	吉原 靖	京都第一赤十字病院	診療科副部長	20年	常勤	○	令和5年度 指導医養成講習会受 講修了（第19回京都府医師会）	4
49	その他	整形外科	整形外科	○	森 弦	京都第一赤十字病院	診療科副部長	22年	常勤	○	令和2年度 指導医養成講習会受 講修了（第17回京都府医師会）	4
50	その他	脳神経外科	脳神経外科	○	古野 優一	京都第一赤十字病院	診療科副部長	21年	常勤	○	平成23年度 指導医養成講習会 受講修了（第5回京都府立医科学 大学附属病院）	4
51	小児	小児科	小児科	○	短田 浩一	京都第一赤十字病院	診療科副部長	25年	常勤	○	平成19年度 指導医養成講習会 受講修了（独立行政法人国立病 院機構）	4
52	小児	小児科	NICU	○	西村 陽	京都第一赤十字病院	診療科部長	35年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会 受講修了（京都府立医科大学附 属病院）	1・4
53	小児	小児科	NICU	○	木下 大介	京都第一赤十字病院	診療科副部長	22年	常勤	○	平成27年度 指導医養成講習会 受講修了（第14回日本小児科学 会）	4
54	小児	小児科	NICU	○	宇都宮 剛	京都第一赤十字病院	医師	22年	常勤	○	令和1年度 指導医養成講習会受 講修了（第26回日本小児科学 会）	4

病 院 施 設 番 号 : 030476

臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :

京都第一赤十字病院

	担当分野①	担当分野② （兼任及び その他の 診療科）	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 （常勤or 非常勤）	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
55	小児	小児科	NICU	○	太田 幹人	京都第一赤十字病院	医師	14年	常勤	○	令和1年度 指導医養成講習会受講修了（第26回日本小児科学会）	4
56	産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	大久保 智治	京都第一赤十字病院	診療科部長	33年	常勤	○	平成23年度 指導医養成講習会受講修了（第5回京都府立医科大学附属病院）	4
57	産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	松本 真理子	京都第一赤十字病院	診療科副部長	21年	常勤	○	令和3年度 指導医養成講習会受講修了（第18回京都府医師会）	4
58	産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	明石 京子	京都第一赤十字病院	医師	17年	常勤	○	令和5年度 指導医養成講習会受講修了（第19回京都府医師会）	4
59	産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	高岡 宰	京都第一赤十字病院	医師	15年	常勤	○	令和4年度 指導医養成講習会受講修了（第32回日本赤十字社）	4
60	その他	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	○	山本 聡	京都第一赤十字病院	診療科部長	30年	常勤	○	平成21年度 指導医養成講習会受講修了（第1回京都第一赤十字病院）	4
61	その他	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	○	森 大地	京都第一赤十字病院	診療科副部長	14年	常勤	○	令和4年度 指導医養成講習会受講修了（第16回京都府立医科大学附属病院）	4
62	その他	眼科	眼科	○	小泉 閑	京都第一赤十字病院	診療科部長	37年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会（第5回京都府医師会）	4
63	その他	皮膚科	皮膚科	○	永田 誠	京都第一赤十字病院	診療科部長	33年	常勤	○	平成21年度 指導医養成講習会受講修了（第1回京都第一赤十字病院）	4
64	その他	泌尿器科	泌尿器科	○	金久 史尚	京都第一赤十字病院	診療科副部長	16年	常勤	○	平成28年度 指導医養成講習会受講修了（第10回京都府立医科大学附属病院）	4
65	その他	泌尿器科	泌尿器科	○	三神 一哉	京都第一赤十字病院	診療科部長	34年	常勤	○	平成26年度 指導医養成講習会受講修了（第8回京都府立医科大学附属病院）	4
66	その他	泌尿器科	泌尿器科	○	太田 雄基	京都第一赤十字病院	医師	8年	常勤	○	令和3年度 指導医養成講習会受講修了（第9回滋賀県病院協会）	4
67	精神科	精神科	心療内科	○	名越 泰秀	京都第一赤十字病院	診療科部長	33年	常勤	○	平成27年度 指導医養成講習会受講修了（第9回京都府立医科大学附属病院）	4
68	その他	放射線科	放射線診断科	○	佐野 優子	京都第一赤十字病院	診療科部長	28年	常勤	○	令和1年度 指導医養成講習会受講修了（第13回京都府立医科大学附属病院）	4
69	その他	放射線科	放射線診断科	○	森下 博之	京都第一赤十字病院	診療科副部長	33年	常勤	○	平成17年度 指導医養成講習会受講修了（第2回京都府医師会）	4

病 院 施 設 番 号 : 030476

臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :

京都第一赤十字病院

	担当分野①	担当分野② （兼任及び その他の 診療科）	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 （常勤or 非常勤）	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
70	その他	放射線科	放射線診断科	○	山田 香織	京都第一赤十字病院	診療科副部長	21年	常勤	○	令和5年度 指導医養成講習会受講修了（第19回京都府医師会）	4
71	その他	放射線科	放射線治療科	○	小谷 直広	京都第一赤十字病院	診療科副部長	18年	常勤	○	平成28年度 指導医養成講習会受講修了（第10回京都府立医科大学附属病院）	4
72	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	阪口 雅洋	京都第一赤十字病院	診療科部長	26年	常勤	○	令和2年度 指導医養成講習会受講修了（第17回京都府医師会）	4
73	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	芦田 ひろみ	京都第一赤十字病院	診療科副部長	32年	常勤	○	令和3年度 指導医養成講習会受講修了（第15回京都府立医科大学附属病院）	4
74	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	三原 聡仁	京都第一赤十字病院	医師	12年	常勤	○	令和3年度 指導医養成講習会受講修了（第18回京都府医師会）	4
75	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	集中治療	○	山崎 正記	京都第一赤十字病院	診療科副部長	20年	常勤	○	平成28年度 指導医養成講習会受講修了（第10回京都府立医科大学附属病院）	4
76	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	集中治療	○	田畑 雄一	京都第一赤十字病院	医師	18年	常勤	○	平成26年度 指導医養成講習会受講修了（第8回京都府立医科大学附属病院）	4
77	内科	内科	血液内科	○	岩井 俊樹	京都第一赤十字病院	診療科副部長	31年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会受講修了（第2回京都府立医科大学附属病院）	4
78	救急部門	救急部門	救急科	○	竹上 徹郎	京都第一赤十字病院	診療科部長	30年	常勤	○	平成19年度 指導医養成講習会受講修了（第4回京都府医師会）	4
79	救急部門	救急部門	救急科	○	安 炳文	京都第一赤十字病院	診療科部長	26年	常勤	○	平成21年度 指導医養成講習会受講修了（第1回大阪赤十字病院）	4
80	救急部門	救急部門	救急科	○	堀口 真仁	京都第一赤十字病院	診療科部長	25年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会受講修了（第2回京都大学医学部附属病院）	4
81	救急部門	救急部門	救急科	○	岡田 信長	京都第一赤十字病院	医師	15年	常勤	○	平成28年度 指導医養成講習会受講修了（第25回京都大学医学部附属病院）	4
82	救急部門	救急部門	救急科	○	榎原 巨樹	京都第一赤十字病院	医師	14年	常勤	○	平成28年度 指導医養成講習会受講修了（第23回日本赤十字社）	4
83	内科	内科	循環器内科	○	島 孝友	京都第一赤十字病院	診療科部長	36年	常勤	○	平成21年度 指導医養成講習会受講修了（第1回京都第一赤十字病院）	4
84	その他	脳神経外科	脳神経外科	○	木村 聡志	京都第一赤十字病院	診療科部長	31年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会受講修了（京都府立医科大学附属病院）	4

病 院 施 設 番 号 : 0 3 0 4 7 6 臨 床 研 修 病 院 の 名 称 : 京都第一赤十字病院

	担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
85	その他	リハビリテー ション科	リハビリテー ション科	○	池田 巧	京都第一赤十字病院	診療科部長	31年	常勤	○	平成26年度 指導医養成講習会 受講修了（第8回京都府立医科大 学附属病院）	4
86	内科	内科	緩和ケア内科	○	谷口 彩乃	京都第一赤十字病院	診療科副部長	26年	常勤	○	令和5年度 指導医養成講習会受 講修了（第19回京都府医師会）	4
87	内科	内科	緩和ケア内科	○	藤澤 なすか	京都第一赤十字病院	医師	16年	常勤	○	令和5年度 指導医養成講習会受 講修了（第19回京都府医師会）	4
88	内科	内科	呼吸器内科	○	内匠 千恵子	京都第一赤十字病院	診療科部長	36年	常勤	○	平成19年度 指導医養成講習会 受講修了（第4回日本赤十字社）	4
89	病理(CPC)	病理(CPC)	病理診断科	○	浦田 洋二	京都第一赤十字病院	診療科部長	45年	常勤	○	平成20年度 指導医養成講習会 受講修了（第68回全国自治体病 院協議会）	4
90	病理(CPC)	病理(CPC)	病理診断科	○	樋野 陽子	京都第一赤十字病院	医師	26年	常勤	○	平成27年度 指導医養成講習会 受講修了（第9回京都府立医科大 学附属病院）	4

※ 「担当分野①」欄には、内科、救急部門、外科、麻酔科、小児科、産婦人科（産科・婦人科選択可）、精神科、地域医療分野、病理（C P C）及びその他を記入すること。

※ 「担当分野②」には兼任している診療科、病院で定めた必修科目の診療科及びその他研修を行う診療科を記入すること。

※ 「専門分野」には呼吸器内科、消化器内科、呼吸器外科、消化器外科等を記入すること。記入した「専門分野」が選択科目の場合「選択科目の有無」に○を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入すること。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

なお、基礎研究医プログラムの指導医には、「基礎研究歴7年以上」もしくは「7年未満」いずれかを「臨床経験年数」欄に明記すること。

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること。

※ 欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。